



相愛ウィンドオーケストラ第36回定期演奏会

Soai Wind Orchestra, the 36th Subscription Concert, Faculty of Music, Soai University

【第1部】

- 三善 晃／吹奏楽のための「クロス・バイ・マーチ」
R. R. ベネット／吹奏楽のためのシンフォニック・ソング
藤田玄播／吹奏楽のための「天使ミカエルの嘆き」
R. シュトラウス／歌劇「サロメ」より「七つのヴェールの踊り」

【第2部】

- C. T. スミス／華麗なる舞曲
R. ヴィルヘルム／チューバとコンサート・バンドのためのコンチェルティーノ ホ短調 Op. 20*
O. レスピーギ／交響詩「ローマの松」



指揮：新田ヨリ(第1部)、若林義人(第2部) *チューバ独奏：杉山康人(クリーヴランド管弦楽団)

2014年11月30日(日)16時開演 (15時開場) ザ・シンフォニーホール

入場料：前売 当日共 1,000円(全自由席)

チケット取扱 電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 235-322) <http://pia.jp/t/>
チケットぴあ店舗、セブンイレブン、サークルKサンクス、ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

*会場整理の都合上座席に関するご希望には添えかねます *未就学児童のご入場はご遠慮いただいております

*演奏会開演後のご入場をお断りすることがあります。あしからずご了承ください *公演の妨げになると判断された行為には、ご退場いただく場合がございます



SOAI University

相愛大学音楽学部



主催：相愛大学

お問い合わせ：相愛オーケストラ合同研究室内 06(6612)3954 ホームページ www.soai.jp/orch/



相愛ウィンド、今年の間きどころ

高度なアンサンブルを得意技とする相愛ウィンドオーケストラ。そこにはサイトウキネンに名を残す故齋藤秀雄氏率いる相愛オーケストラから数十年にわたり脈々と引き継がれる精神ありきと言えようか。今回のソリストにはその中から巣立った日本を代表するチューバ奏者杉山康人氏を迎える。氏は相愛大学音楽学部を卒業後、新日本フィルや、アジア人では初となるウィーン国立歌劇場管弦楽団を経て、現在アメリカクリーヴランド管弦楽団チューバ奏者として活躍するなど、輝かしい経歴の持ち主である。このほかスミス「華麗なる舞曲」や「サロメ」、「ローマの松」といった多く親しまれている名曲の数々を、ザ・シンフォニーホールの深い響きでお楽しみいただきたい。

Soai
Wind
Orchestra

相愛ウィンドオーケストラ

すでに60年近くの歴史を有している「相愛オーケストラ」。1979年には管打楽器を主体とする「相愛ウィンドオーケストラ」が設立されその一翼を担うようになった。以来毎年定期演奏会を積み重ね、今回第36回を迎える。指揮者として椿弘元教授、酒井睦雄教授が務めてきたが、2007年よりこれまでに数々のウィンドオーケストラを育ててきた若林義人氏を迎え、豊かな表現力を備えた合奏団へと成長している。さらに今回はゲスト指揮者に新田ユリ氏を迎える。指導者として竹林秀憲(フルート)、前田昌宏(サクソフォン)、飯塚一郎(トランペット)、中谷満(打楽器)の4名の専任教授が中心となり、週2回の合奏授業を通して、高度な合奏技術と音楽性の追求に取り組んでいる。クラシックや吹奏楽曲をアカデミックに捉える定期演奏会に加え、より洗練され明るく楽しい響きを求めるポップスコンサートを開催し吹奏楽の持つ多彩なジャンルに柔軟に対応している。



杉山康人 チューバ Yasuhito SUGIYAMA, Tuba

1967年兵庫県滝野町生まれ。1990年、相愛大学音楽学部を卒業。同年8月より一年間京都市交響楽団に客演。1993年には大阪フィルのヨーロッパツアーに同行。1995年10月大阪シンフォニカー(現 大阪交響楽団)に入団し、翌年8月には活動の拠点を東京に移すために退団。1997年、新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。1998年にはR.V.Williamsのチューバ協奏曲で新日フィルと共演。1999年、東京、大阪でリサイタル。2002年、新日フィルの親子コンサートで「チューバのタビー」のソリスト。2003年アジア人では初のウィーン国立歌劇場管弦楽団入団。2005年ロリンマゼール指揮のニューイヤーコンサートに出演。2005年9月までウィーンフィルにも在籍。2005年9月からアメリカ五大オーケストラのクリーヴランド管弦楽団に入団。ブルックナー 4番、5番、7番、8番、9番のレコーディングをする。2014年6月カリフォルニアソノマにて National Brass Ensembleのメンバーとしてガブリエリプロジェクトに参加。指導者としてBaldwin wallace college, Cleveland音楽院で後進の指導をする。日本では、相愛大学音楽学部の講師も務める。インディアナ大学、マイアミフロストスクール、サンフランシスコ音楽院でマスタークラスを行う。第12回日本管打楽器コンクールのチューバ部門で第一位を受賞、東京交響楽団と共演。これまでに武貞茂夫、緒方文則、故唐川集三、ロバート・トゥッチ、レックス・マーティン、ロナルド・ビショップ各氏、室内楽を呉信一氏に師事。今回の演奏は2005年10月に闘病の末に逝去された、故唐川集三先生に捧げます。



新田ユリ 指揮者 Yuri NITTA, conductor



指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、小松一彦に師事。'90年ブザンソン国際青年指揮者コンクールファイナリスト、'91年東京国際音楽コンクール<指揮>第2位受賞後日本国内主要オーケストラへ客演。また東京佼成ウィンドオーケストラ、大阪市音楽団、シエナ・ウィンドオーケストラと客演。キングレコード、ポニーキャニオンより共演CDをリリース。00年文化庁在外研修生としてフィンランドに派遣。ラハティ交響楽団監督オスモ・ヴァンスカのもと研鑽を積む。クオピオ交響楽団、ミッケリ市管弦楽団、ヨensuu市管弦楽団、フィンランド海軍吹奏楽団、国防軍吹奏楽団、ラ・テンペスタ、クリスチャンサン交響楽団に客演。'05年~'07年オウルンサロ音楽祭へ招聘、'06年'13年リエクサ・ブラスウィーク客演。'15年より愛知室内オーケストラ常任指揮者に就任する。'14年10月より日本シベリウス協会会長に就任。

若林義人 指揮者 Yoshito WAKABAYASHI, conductor



京都市立芸術大学卒業。在学中に京都市交響楽団に入団、卒業と同時に安部賞を受賞。入団当初より龍谷大学吹奏楽部の指導に当たる。トランペットを故金石幸夫、有馬純昭、田宮堅二の各氏に師事。京都市交響楽団トランペット奏者として25年6ヶ月在籍し、2007年の3月をもって退団。2007年度より龍谷大学吹奏楽部音楽監督常任指揮者、相愛大学ウィンドオーケストラ指揮者に就任。近年は、ジャパン・ブラス・コレクション、ブラスパラダイス大阪、ブラスカラース大阪等に客演指揮者として招かれ、指揮者としての活動も精力的に行っている。現在、龍谷大学学友学術文化局吹奏楽部音楽監督常任指揮者、京都市立芸術大学非常勤講師、21世紀の吹奏楽「饗宴」会員。

<http://www.soai.jp/orch/>